

Book Letter

図書館便り 12月号

田園調布学園中等部・高等部 図書館

この図書だよりは、学園 HP の学内ページ「図書館」からも閲覧できます

冬休み中も学校が開いている日には、図書館で自習や読書することができます。暖かい場所で、本の世界に没頭してみませんか。

冬休み貸出 一人10冊

12/13（金）より、冬休み貸出を行います。返却日は1月8日（水）です。レポートや読書に活用してください。延滞本がある人は、本を返却して貸出しましょう。

引き続きかりたい本がある場合は、継続手続きするとOK！！貸出カードがなくてもかりられます。

豆本

ワークショップ開催

12/17（火）、12/18（水） 12時45分～ 15分程度

豆本とは……手のひらにのるくらい小さな本です。小さくても葉や花布が付いていて、ハードカバーの本と同じ、しっかりとした造りです。豆本の歴史は古く、16世紀中頃には、英国やフランスなどで存在していたそうです。中身は聖書の抜粋で、いつでも持ち歩けるようにと作られたものでした。

参考図書 『おまめの豆本づくり』柴田尚美／白泉社

お知らせ

サークル読書会

近隣の私立学校の生徒と一冊の本について語ってみませんか。

・開催日時 2020年 2/15（土）14時半～（土プロ後）

本校での開催になります。ただいま、図書委員会で課題本を選考中！！

・参加条件 課題本を当日までに読むこと。熱い心。

* 上記のイベントに興味がある人は図書委員、もしくは図書館 二井・松井まで

課題本
?

本とわたしで腕試し

ビブリオバトル

ビブリオバトルは本の書評合戦です。パトラー（発表者）は5分間で、本への熱い思いを観戦者に語ります。その後、3分間の質疑応答があります。すべての発表が終わると、全員で『一番読みたくなった本』へ投票します。最も投票数を集めた本が、【本日のチャンプ本】になります。発表の上手下手で、チャンプ本が決まらないところも魅力の一つ。ぜひ参加したい！、ビブリオバトルを聞いてみたい！という人は図書委員、図書館 二井・松井まで。次回の開催は来年**1月**です。

知識も薬！？ ウイルスに注意

『もやしもんと感染症屋の気になる菌辞典』 岩田健太郎 朝日新聞出版社 2017年



農業大学を舞台に菌の世界をコミカルに描いた『もやしもん』。その漫画家が感染症の菌のイラストを手掛けた。突っ込み役（著者）は、感染症のプロ・医師の岩田健太郎さん。身近な感染症が紹介されているので、「意外とこいつ、やっかいだな」と再認識できます。これからの季節、流行する嫌な感染症といえば“インフルエンザ”。イタリア語が語源で、英語で「influence」（影響）という意味です。

『？(ギモン)を！（かいつ）くすりの教室くすり3 くすりと体の関係は？』

加藤哲太 監修 保育社 2018年



“くすり”に関する、様々な知識をわかりやすく説明したシリーズ。3巻目は、体の具合に合わせた薬の選び方がわかる。病名の索引はもちろん、薬名の索引もついている！全ページ、オールカラーで解説のイラストも楽しい。本来はイヤなはずの病気やケガについて、不思議と見入ってしまいます。医療・看護系に進みたい人もぜひ。

『ブロード街の12日間』 デボラ・ホプキンソン あすなろ書房 2014年



150年前のロンドン、ブロード街。主人公の少年・イールは孤児として、様々な仕事を引き受けながら生きていた。ある夏の日、「青い恐怖」と呼ばれる“コレラ”が発生する。次々に倒れていく人々。イールはスノウ博士とともに原因を突き止めるべく、ブロード街をかけまわる。1845年に起こったブロード街でのコレラ大発生と、原因を突き止めた実在の人物・スノウ博士を元に書かれた物語。

『ダーウィンの「種の起源」はじめての進化論』
サビーナ・ラデヴァ著 福岡伸一訳 467-ラ



日比谷図書文化館3階ホールにて「日比谷に福岡ハカセがやってきた」展が年末まで開催中！
イベントで福岡ハカセがおすすめした本や関連書籍も読むことができます。

千代田区立図書館イベントHP

https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/information/20191108-3_22/

『長くつ下のピッピ』

アストリッド・リンドグレーン著
大塚勇三訳 949-リ



ピッピ、やかまし村の子どもたち、名探偵カッレ……。自由で強い意志をもった子どもを描いた、童話作家リンドグレーンの半生が映画になりました。映画『リンドグレーン』12月7日より、岩波ホールにて公開中。

岩波ホール公式HP

<https://www.iwanami-hall.com/>